

平成 21 年度 河川レンジャー年間経過報告

平成 22 年 2 月

高槻管内河川レンジャー

中島 敏明

吉川 正之

酒井 信行

山崎(大阪府域)管内河川レンジャー

谷岡 寿和子

目 次

1. 中島レンジャー活動実施報告・平成 21 年 4 月～8 月(4 回実施)	1
2. 中島レンジャー活動実施報告・5 月 15 日・6 月 12 日・6 月 19 日・9 月 12 日	11
3. 中島レンジャー活動実施報告・平成 21 年 6 月 27 日(土)	16
4. 中島レンジャー活動実施報告・平成 21 年 11 月 28 日(土)	20
5. 吉川レンジャー活動実施報告・平成 21 年 4 月 19 日(日)	25
6. 吉川レンジャー活動実施報告・平成 21 年 6 月 9 日(火)	30
7. 吉川レンジャー活動実施報告・平成 21 年 10 月 15 日(木)	35
8. 吉川レンジャー活動実施報告・平成 21 年 7 月 4、5 日(土・日)	39
9. 酒井レンジャー活動実施報告・平成 21 年 4 月 1 日～平成 22 年 1 月 30 日	40
10. 酒井レンジャー活動実施報告・平成 22 年 1 月 23 日(土)	48
11. 谷岡レンジャー活動実施報告・平成 21 年 4 月 18 日(土)	53
12. 谷岡レンジャー活動実施報告・平成 21 年 5 月 15 日(金)	58
13. 谷岡レンジャー活動実施報告・平成 21 年 11 月 14 日(土)	62
14. 谷岡レンジャー活動実施報告・平成 21 年 12 月 6 日(日)	67
15. 谷岡レンジャー活動実施報告・平成 22 年 1 月 23 日(土)	72

1. 中島レンジャー活動実施報告・平成21年4月～8月(4回実施)

1.1 実施状況

<テーマ:小学校での啓発活動>

テ ー マ	桜台小学校での啓発活動		
担 当	高槻出張所管内	河川レンジャー中島レンジャー	
開催日時	平成21年4月28日(火) 9:00～14:30		
参加人数	参加総数	99名	
	児童参加者	87名	桜台小学校
	引率教師	7名	校長ほか
	河川レンジャー	1名	中島レンジャー
	高槻市役所 運営事務局	3名 1名	公園整備担当
講 師	中島氏	(河川レンジャー)	
スケジュール	9:42	桜台小児童集合と開会のあいさつ	
	9:48	車いす移動の準備	
	9:58	川のクイズと現地コースの説明	
	10:08	芥川合流点まで移動	
	10:20	淀川を背景に芥川合流点の説明	
	10:42	児童さんからの質問	
	11:22	芥川左岸堤防を上流にむかって移動	
	11:23	移動途中の自然観察	
	12:00	津ノ江公園に到着	
	12:12	高槻市職員さんからの公園整備状況の説明	
	12:19	昼食時の児童実行委員の諸注意	
	13:17	芥川水辺のコサギ	
	13:50	集合写真	
	13:52	閉会のあいさつ	
実施場所			

テ ー マ	桜台小学校での啓発活動		
担 当	高槻出張所管内	河川レンジャー	中島レンジャー
開催日時	平成 21 年 7 月 7 日(火) 9:30 ~ 11:00		
参加人数	参加総数	100 名	
	一般参加者	90 名	87 名(桜台小学校 5 年生)引率 3 名
	協力スタッフ	1 名	
	自治体	7 名	
	運営事務局	1 名	大阪府茨木土木 6 名・高槻市 1 名
スケジュール	9:00 9:35 9:45 9:48 9:50 9:51 10:33 10:45 10:55 11:00	スタッフ集合・打合せ、準備 桜台学校 5 年生 87 名到着 実行委員会の挨拶(桜台小学校児童) 茨木土木灰原氏挨拶 中島レンジャー挨拶 小学生移動・魚取り開始 自ら上がる 穫れた魚の説明(中島レンジャー) 灰原氏の挨拶 解散	
実施場所			

テ ー マ	真上小学校での啓発活動		
担 当	高槻出張所管内	河川レンジャー中島レンジャー	
開催日時	平成 21 年 7 月 8 日(水)9:00～11:00		
参加人数	参加総数	136 名	
	児童参加者	114 名	真上(まがみ)小学校
	河川レンジャー	1 名	中島レンジャー
	引率教師	5 名	真上(まがみ)小学校
	スタッフ	4 名	高槻環境市民会議水環境グループ
	行政担当者	11 名	高槻市 2 名 大阪府茨木土木事務所 9 名
	運営事務局	1 名	
講 師	中島氏	(河川レンジャー)	
スケジュール	9:30	真上小学校児童到着	
	9:43	開会あいさつと本日の予定説明	
	9:44	魚の採取方法の説明	
	9:49	現地で整列	
	9:55	魚採りの開始。ポールは深みの警戒範囲。	
	10:01	投網による採取	
	10:01	児童による魚採りと観察	
	10:05	カワニナが採れた	
	10:17	婚姻色のでたオイカワの雄	
	10:18	婚姻色のでたカワムツの雄	
	10:31	ドンコの展示	
	10:22	採れた魚の集合	
	10:28	採れた魚と図鑑の解説	
	10:35	児童からの質問と応答	
	10:52	閉会のスタッフミーティング	
実施場所			

テ ー マ	如是小学校での啓発活動		
担 当	高槻出張所管内	河川レンジャー中島レンジャー	
開催日時	平成 21 年 8 月 28 日(金) 9:00～11:00		
参加人数	参加総数	75 名	
	児童参加者	61 名	如是小学校
	引率教師	4 名	如是小学校
	河川レンジャー	1 名	中島レンジャー
	講師	3 名	高槻市民環境会議
	自治体	5 名	大阪府茨木土木事務所 4 名 高槻市 1 名
	運営事務局	1 名	
講 師	だいこく氏 おぐら氏 かわの氏	(高槻市民環境会議) (高槻市民環境会議) (高槻市民環境会議)	
スケジュール	9:19 開始のミーティング 9:28 事前の魚採取 9:30 会場の設営 9:30 如是小学校の児童到着 9:36 レンジャー、スタッフによる開会のあいさつ 9:40 魚の採り方の講義 9:44 タモ網の配布 9:46 レンジャーによる投網の実地採取 9:49 採取場所への移動開始 9:53 講師による指導 10:08 レンジャーによる指導 10:07 採取魚種、オイカワ、モツゴ、ギンブナ、カマツカほか 10:23 魚の同定と説明 10:38 児童との質疑応答 10:46 会場の撤収 10:53 終了のミーティング		
実施場所			

1.2 事前活動

<p>各種資料</p>	
<p>関係機関からの支援内容</p>	<p>芥川倶楽部 スタッフ協力 必要備品の貸与</p> <p>茨木土木事務所 スタッフ協力 必要備品の貸与</p> <p>たかつき環境市民会議 スタッフ協力 必要備品の貸与</p> <p>淀川河川事務所 必要備品の貸与 配布資料の印刷、提供</p>
<p>レンジャーの活動内容</p>	<p>実施計画の立案 実施内容の検討</p> <p>広報活動 特になし</p> <p>必要物品の準備 関係機関への貸与依頼 配布資料の作成 配布資料の提供依頼</p> <p>関係機関との調整 小学校担任との事前打ち合わせ</p> <p>活動の実施 下見 開会・閉会の挨拶 司会進行 説明 参加者との交流</p>

1.3 活動状況

4月28日



桜台小児童集合と開会のあいさつ



川のクイズと現地コースの説明



淀川を背景に芥川合流点の説明



児童さんからの質問



芥川左岸堤防を上流にむかって移動



高槻市職員さんからの公園整備状況の説明



津ノ江公園に到着



閉会のあいさつ

7月7日



開会 児童とレンジャーからの挨拶



川に入る前の諸注意



生き物とり開始



たも網などを使って採取



生き物とり風景



採れた魚や生き物説明



採れた生き物



児童から終わりの挨拶

7月8日



開会 レンジャーから活動の説明



魚の採取方法の説明



生き物とり開始



児童による魚とりと観察



婚姻色が出たオイカワの雄



採れた魚と図鑑による解説



児童からの質問



閉会後のスタッフミーティング

8月28日



開始前のスタッフミーティング



投網による魚の事前採取



児童集合 レンジャー、スタッフによる開会のあいさつ



採取場所へ移動



レンジャーに指導を受けながら採取



採取魚種、オイカワ、モツゴ、ギンブナ、カマツカほか



魚の同定と説明



後片付けの様子

1.4 意見・課題

<p>参加者からの意見</p>	<p>初めて魚をさわってみました。初めは「気持ち悪い」とおもっていたけど そうでもなかった。</p> <p>川っていろんな生き物があるんやな。これからもたくさんの生き物がいて ほしいです。</p> <p>津の江公園でおもいきり遊びました。暖かくなったら池にも入ってみたい。</p> <p>初めて淀川を見ました。どっちに流れているのかわからなかった。芥川が 淀川とつながっているのがわかった。大きい川やな。</p> <p>淀川に行く道、草ぼうぼうで気持ち悪かった。木があって鳥がいました。</p> <p>新発見のドジョウが取れました。(真上小)(スジシマドジョウ、10年ぶり です)</p> <p>女瀬川、きしよい場所があった。気持ち悪かった。</p> <p>女瀬川にこんなに魚がいるなんて思わなかった。</p> <p>また川に入って魚取りをして遊びたい。</p> <p>エビや魚が取れてうれしかったです。</p> <p>ブラックバスやブルーギル、カダヤシなどの話を聞きました。前からすん でいる魚を食べています。魚が少なくなったらこまる。</p> <p>クツの中にたくさん砂が入ってきたけどおもしろかった。</p>
<p>今後の課題</p>	<p>子どもたちにとっての川体験、とても大切だと思います。子どもたちは、 まず体で感じ心や頭が動いていきます。でも、多い学校で二三次、ほとん どの学校は一回です。もうちょっと継続した体験を与えてあげたいもので す。</p> <p>そういう意味でも「ジュニア河川レンジャー養成塾」の実施が検討課題に なります。</p> <p>今年度は、学校で授業をさせてもらう機会が少なかった(今のところ茨木の 学校で一校のみ)。現在の授業時数の中での困難さがうかがえる。今後、教 育委員会とも接点を持ち、川体験・河川環境学習の大切さを訴えていく必 要がある。</p>

2. 中島レンジャー活動実施報告 5月15日・6月12日・6月19日・9月12日

2.1 実施状況

< テーマ: 芥川・淀川連続講座 >

テーマ	芥川・淀川連続講座(全4回)							
担当	高槻管内	河川レンジャー	中島レンジャー					
日時	5月15日(金) 17:30～20:30	6月12日(金) 17:30～20:30	6月19日(金) 17:30～20:30	9月12日(土) 14:00～16:20 <small>当初5/22予定分。インフル エンザ流行のため延期。</small>				
参加人数	総数	50名	総数	63名	総数	72名	総数	53名
	一般	32名	一般	47名	一般	56名	一般	40名
	河川レンジャー (中島・谷岡・仁枝)	3名	河川レンジャー (中島・谷岡)	2名	河川レンジャー (中島・谷岡・仁枝・ 柳沼・酒井)	5名	河川レンジャー (中島・谷岡・仁枝)	1名
	講師	6名	講師	5名	講師	5名	講師	3名
	協力スタッフ	7名	協力スタッフ	7名	協力スタッフ	5名	協力スタッフ	6名
	運営事務局	1名	河川事務所 運営事務局	1名 1名	河川事務所 運営事務局	1名 1名	河川事務所 高槻出張所 運営事務局	1名 1名 1名
スケジュール	<p>スタッフ集合・会場準備 講師、パネラー、スタッフとの打ち合わせ</p> <p>一般受け付け開始・開場</p> <p>開会 レンジャーより挨拶と講師、パネラーの紹介</p> <p>講演、パネルディスカッション開始 < テーマ > 第一回「芥川の生態系と外来種問題」 第二回「芥川的环境改善計画」 第三回「これからの芥川と淀川」 第四回「芥川の治水・利水そして環境」</p> <p>一般聴講者からの質疑応答</p> <p>閉会 終わりの挨拶・解散 スタッフ後片付け</p>							
活動場所								

2.2 事前活動

<p>各種資料</p>	<div style="text-align: center;">  </div> <p style="text-align: center;">配布資料</p>
<p>関係機関からの支援内容</p>	<p>芥川倶楽部 スタッフ協力</p> <p>淀川河川事務所 必要物品(のぼり等)の貸与 配布資料の提供</p>
<p>レンジャーの活動内容</p>	<p>実施計画の立案 実施日、実施計画の検討</p> <p>広報活動 参加案内の作成、関係機関へのピラ配布 広報たかつきへの掲載依頼 はがき送付</p> <p>必要物品の準備 関係機関への貸与依頼、配布資料の作成</p> <p>関係機関との調整 事前打ち合わせ</p> <p>活動の実施 会場準備、開会・閉会の挨拶 司会進行 参加者との交流</p>

2.3 活動状況
5月15日



開会



来場者全景



講師・パネラーのみなさん



聴講者からの質疑

6月12日



会場設営の様子



来場者全景



講師・パネラーのみなさん



パワーポイントを使った説明

6月19日



受付の様子



来場者全景



講師・パネラーのみなさん



河合氏による講演

9月12日



受付の様子



来場者全景



中島レンジャーによる司会



講師・パネラーのみなさん

2.4 意見・課題

参加者からの意見	<p>芥川の生態系の保全が、淀川との深いつながりの中で考えていかなければならないことがわかった。</p> <p>淀川河川事務所や茨木土木事務所の考えを直に聞いてよかった。</p> <p>魚道を作るのはいいが、魚たちが本当に登れる魚道を作ってほしい。現在の魚道にはいろいろ問題がある。</p> <p>芥川的环境改善計画を初めて知った。われわれ市民はどんな風に参加していけばいいのか。</p> <p>四回とも出席しているいろいろ学べた。次は芥川・淀川の歴史についてもやってほしい。</p> <p>それぞれのテーマが重く時間が足りなかった。欲張りすぎの運営ではないか。</p> <p>もっともっと意見が聴きたかったし、発言する時間がほしかった。</p> <p>水利組合や地域で川に関わってこられた方のパネラー発言は、とても実感がこもっており参考になった。</p> <p>中島さんが言っていた「協働型河川管理」の時代ということ、いい言葉で大切とは思いますが、道筋が見えないというのか道筋を作っていかなければならないだろう。</p> <p>治水と防災について私たちはどう動くべきなのか、また、河川環境との関係がもう一つすっきりしなかった。</p>
今後の課題	<p>連続講座、やってよかったとは思いますが欲張りすぎだった。一つ一つのテーマが重く、時間が足りなかった。</p> <p>優れたパネラーを招きすぎ、パネラーの個性を十分生かしきれなかった。</p> <p>参加者の発言時間を十分とるべきだった。</p> <p>行政・河川関係者・市民をつなぐ、ささやかなきっかけが出来たのでは？</p> <p>当初かんがえていたフィールドとのつながりが出来なく反省している。</p> <p>連続講座の意義はあったと確信していますが、大変疲れました。今後はもう少しゆとりを持って考えていきたいです。</p> <p>参加年齢の偏りを感じました。若い方の参加をどう図っていくか、難しいですね。</p>

3. 中島レンジャー活動実施報告・平成 21 年 6 月 27 日(土)

3.1 実施状況

<テーマ:芥川・淀川の多様な生態系を守ろう！>

テ ー マ	芥川・淀川の多様な生態系を守ろう！ 遡上アユを見つけよう		
担 当	高槻出張所管内	河川レンジャー中島レンジャー	
開催日時	平成 21 年 6 月 27 日(土) 9:30～12:00		
参加人数	参加総数	68 名	
	一般参加者	56 名	(大人 46 名、小人 10 名)
	河川レンジャー	1 名	中島レンジャー
	協力スタッフ	10 名	
	講師	1 名	
スケジュール	9:30	スタッフ集合 準備・ミーティング	
	10:00	開会 中島レンジャー、スタッフより挨拶 活動の説明、諸注意	
	10:10	魚、生き物とりの開始 投網、たも網等を使って採取	
	11:00	採捕終了 講師による解説	
	11:40	活動のまとめ後、閉会の挨拶	
	11:50	終了 参加者解散 スタッフ後片付け	
	12:00	スタッフ解散	
実施場所			

3.2 事前活動

<p>各種資料</p>	<p>「琵琶湖・淀川水系の魚たち」 当日の予定表</p>
<p>関係機関からの支援内容</p>	<p>芥川倶楽部 スタッフ協力</p> <p>淀川河川事務所 必要物品(のぼり等)の貸与 配布資料の提供</p>
<p>レンジャーの活動内容</p>	<p>実施計画の立案 実施日、実施計画の検討</p> <p>広報活動 参加案内の作成、関係機関へのビラ配布 広報たかつきへの掲載依頼 はがき送付</p> <p>必要物品の準備 関係機関への貸与依頼、配布資料の作成</p> <p>関係機関との調整 事前打ち合わせ</p> <p>活動の実施 会場準備、開会・閉会の挨拶 司会進行 参加者との交流</p>

3.3 活動状況



活動場所の芥川大橋付近



参加者集合 開会の挨拶と活動の説明



魚とりの準備



投網による魚、生き物の採捕



投網にかかった生き物を確認



採れた魚を観察する参加者たち



配布資料を見ながらとれた魚を確認



魚、生き物の解説。この日は残念ながら
遡上アユは確認できなかった。

3.4 意見・課題

参加者からの意見	<p>アユが見つからなくて残念だった。</p> <p>これだけたくさんの魚がいるとはおもわなかった。</p> <p>淀川からのぼってくる魚が、芥川を遡上できるよう魚道は必要だとおもった。</p> <p>ブラックバスやブルーギル、なんとかできないものだろうか。</p> <p>いろんな生き物がすんでいる川を大切にしたい。</p> <p>四人の方がいっせいに投網を打つ姿は壮観だった。</p> <p>この場所で、カネヒラというタナゴがはじめて見つかったと聞いておどろいた。</p> <p>魚や生き物の生態と河川的环境、深く結びついていると思うが、わからないことがいろいろあり、少しずつ知っていきたい。</p> <p>今年はアユは遡上しないのだろうか？だとしたら、何が原因か？</p>
今後の課題	<p>今年度は残念ながら遡上アユを発見できなかった。下見でもその後の調査でも発見できなかった。今後も継続して調べていきたい、とともにこのイベントを続けていきたい。</p> <p>参加者に、実際川に入ってもらうことも考えていきたい。</p> <p>淀川大堰でのアユの遡上データも使っていきたい。</p>


4. 中島レンジャー活動実施報告・平成 21 年 11 月 28 日(土)

4.1 実施状況

<テーマ:歩いて知ろう芥川>

テ ー マ	芥川リバーウォッチング		
担 当	高槻出張所管内	河川レンジャー中島レンジャー	
開催日時	平成 21 年 11 月 28 日(土) 9:00~13:00		
参加人数	参加総数	87 名	
	一般参加者 河川レンジャー 協力スタッフ	52 名 1 名 28 名	大人 48 名、子供 4 名 中島レンジャー 芥川倶楽部、茨木土木、大阪府
	淀川河川事務所 運営事務局	1 名 2 名	
スケジュール	9:00 受付開始(高槻市役所南駐車場) 9:30 芥川倶楽部田口氏挨拶 10:00 4 班に班分けし出発 10:50 芥川大橋を渡る 11:10 阿久刀神社宮司による説明 11:23 地元見識者古藤氏による芥川に係る歴史の話 12:10 清水受水場水管橋での水利用の歴史の話(古藤氏) 12:34 あくあびあ芥川での中島レンジャー挨拶 12:40 茨木土木事務所による河川に係る計画・防災等の説明 13:00 アンケート回収 解散		
実施場所	<p>あくあびあ芥川</p> <p>清水受水場水管橋</p> <p>芥川橋</p> <p>阿久刀人神社</p> <p>芥川桜堤公園</p> <p>芥川防災ステーション</p> <p>集合場所 (高槻市役所)</p>		

4.2 事前活動

<p>各種資料</p>	 <p>配布資料</p>
<p>関係機関からの支援内容</p>	<p>淀川河川事務所 必要物品(のぼり等)の貸与 配布資料の提供</p>
<p>レンジャーの活動内容</p>	<p>実施計画の立案 実施内容の検討</p> <p>広報活動 各関係機関と連携の上実施</p> <p>必要物品の準備 関係機関への貸与依頼、配布資料の作成</p> <p>関係機関との調整 事前打ち合わせ</p> <p>活動の実施 下見 開会閉会の挨拶 司会進行 説明 参加者との交流</p>

4.3 活動状況



受付風景



芥川倶楽部 田口代表挨拶



班に分かれて出発



スタッフによる芥川の説明



飛び石を渡る参加者



地元見識者による芥川の水利利用の歴史の説明



阿久刀神社宮司説明



桜堤公園の散策



桜堤公園にて芥川の景観についての説明



あくあびあ芥川到着



淀川河川事務所 小俣所長挨拶



運営会議代表者 日笠氏挨拶



茨木土木事務所職員による説明



閉会の挨拶 解散

4.4 意見・課題

参加者からの意見	<p>古藤先生の歴史の話がとても面白かった。芥川の歴史ということで別個に講演会を持ってほしい。</p> <p>芥川にミズヒマワリがこんなにはびこっているとは思わなかった。</p> <p>河口から摂津峡まで水辺を歩けるようになればいい。</p> <p>初めて歩いているんな場所を知り、面白かった。芥川がちょっと身近になった。</p> <p>芥川にたくさんの野鳥がいるのには驚いた。</p> <p>最後の豚汁と非常食がおいしかった。</p>
今後の課題	<p>昨年に引き続き二回目のリバーウォッチング、これを遊歩道設置(特に下流部)につなげていきたい。</p> <p>来年度は、一般参加のリバーウォークと別に、関係者・関係団体による下流部を中心にしたポイントチェックのリバーウォークを行い、淀川河川事務所・茨木土木事務所とテーブルに着く資料をまとめたい、講師に行政を招きたいと思っている。</p>


5. 吉川レンジャー活動実施報告・平成 21 年 4 月 19 日(日)

5.1 実施状況

<テーマ:> 水辺ウオーク

テ ー マ	玉川の里～くらわんか船発祥の地を訪ねて		
担 当	高槻出張所管内	河川レンジャー吉川レンジャー	
開催日時	平成 21 年 4 月 19 日(日) 9:30～14:30		
参加人数	参加総数	32 名	
	一般参加者	32 名	
	河川レンジャー	1 名	吉川レンジャー
	講師	4 名	
	スタッフ	3 名	
	淀川河川事務所 運営事務局	1 名 1 名	小俣事務所長
講 師	高田 禎三 氏 坂田 氏 児玉 氏 牧尾 氏	西面公民館館長 三島江自治会長 神安土地改良区 法光寺住職	
スケジュール	<p>9:53 玉川橋団地受付</p> <p>10:02 玉川橋下流玉川の里にて開会のあいさつ</p> <p>10:06 高田講師のあいさつ</p> <p>10:13 卯の花(ウツギ)の解説</p> <p>9:15 玉川の里・芭蕉歌碑</p> <p>10:18 番田排水路でのカルガモのつがい</p> <p>10:39 神安土地改良区児玉さんの花畑整備説明</p> <p>10:46 西面地区洪水に備えて嵩上げされた住宅</p> <p>10:53 樹齢 100 年正徳寺のウツギ</p> <p>10:57 三箇牧水路説明版</p> <p>11:04 用排水路の分離状況の説明</p> <p>11:27 坂田講師による三島江浜と灯籠の解説</p> <p>13:00 レンゲ祭り会場にて小柳邸段蔵を背景に集合写真</p> <p>13:18 くらわんか舟発祥の石碑にて吉川レンジャーの説明</p> <p>13:37 法光寺住職による蓮如ほか談話</p> <p>14:24 閉会のあいさつ</p>		
実施場所			

5.2 事前活動

<p>各種資料</p>	
<p>関係機関からの支援内容</p>	<p>神安土地改良区 スタッフ、講師協力</p> <p>淀川河川事務所 必要物品の貸与 配布資料の提供、印刷</p>
<p>レンジャーの活動内容</p>	<p>実施計画の立案 実施日、実施場所の検討</p> <p>参加の案内 地域自治会への参加案内 チラシの配布 ホームページ掲載</p> <p>必要物品の準備 関係機関へ貸与依頼</p> <p>関係機関との調整 スタッフ依頼、調整 備品の借用依頼 各種打ち合わせ</p> <p>事前下見 開会、閉会の挨拶 司会進行 町歩きの解説 参加者との交流 意見・感想のとりまとめ</p>

5.3 活動状況



玉川橋団地受付のようす



玉川橋下流玉川の里にて開会のあいさつ



高田講師のあいさつ



卯の花(ウツギ)の解説



玉川の里・芭蕉歌碑



番田排水路でのカルガモのつがい



神安土地改良区児玉さんの花畑整備説明



西面地区洪水に備えて嵩上げされた住宅



樹齡 100 年正徳寺のウツギ



三箇牧水路説明版



用排水路の分離状況の説明



坂田講師による三島江浜と灯籠の解説



レンゲ祭り会場にて小柳邸段蔵を背景に集合写真



くらわんか舟発祥の石碑にて吉川レンジャーの説明



法光寺住職による蓮如ほか談話



閉会のあいさつ

5.4 意見・課題

参加者からの意見	<p>水と歴史が分かってよかった。</p> <p>芭蕉の句碑はじめて知った。</p> <p>講師が良かった。丁寧に説明された。</p> <p>桜の咲きがよい。</p> <p>卯の花の名所だからその時期にしてはどうか。</p> <p>レンゲ祭もよかった。餅つきに間に合わなかったのが残念。</p> <p>三十石舟の歌がよかった。</p> <p>法光寺の藤が美しかった。お寺のいわれがよく分かった。</p>
今後の課題	<p>卯の花や桜の時期に設定すること。</p> <p>コミュニティー紙のきつつきと広報をお願いしたが、五大紙へのPRが必要か。 PRの方法が問題。</p>

6. 吉川レンジャー活動実施報告・平成21年6月9日(火)

6.1 実施状況

<テーマ:稲作体験学習>

テ ー マ	柱本小学校稲作体験		
担 当	高槻出張所管内	河川レンジャー 吉川レンジャー	
開催日時	平成21年6月9日(火)9:30~11:15		
参加人数	参加総数	100名	
	児童参加者	84名	柱本小学校
	引率教師	4名	教頭ほか
	河川レンジャー	2名	吉川、山本レンジャー
	講師	2名	地元農業者
スタッフ		7名	農業委員会2名、農林課2名
	運営事務局	1名	神安土地改良区2名、 教育委員会1名
講 師	高碓氏 高井氏	(地元農業者) (地元農業者)	
スケジュール	10:01	児童整列と代表あいさつ	
	10:01	講師スタッフのあいさつ	
	10:06	高碓氏による技術指導	
	10:10	レンジャーによるモンドリの説明	
	10:21	高碓さんの技術指導	
	10:14	田植えの開始	
	10:22	田植えのようすその1	
	10:23	田植えのようすその2	
	10:30	田植えのようすその3	
	10:36	足の泥落とし	
	10:41	水槽の魚観察	
	10:41	水路での足洗い	
	10:56	児童のお礼	
	11:00	閉会のミーティング	
実施場所	 <p>活動場所：高槻市柱本 4丁目20番地付近 (個人農地)</p>		

6.2 事前活動

<p>各種資料</p>	<p>特になし</p>
<p>関係機関からの支援内容</p>	<p>高槻市・高槻市農業実行組合・神安土地改良区 スタッフ協力</p> <p>淀川河川事務所 パックテストの提供 必要資料の印刷 必要物品の貸与</p>
<p>レンジャーの活動内容</p>	<p>実施計画の立案 実施日・実施内容の検討 現地下見 小学校との調整</p> <p>参加の案内 小学校への案内</p> <p>必要物品の準備 関係機関、協力者への依頼・調整</p> <p>関係機関との調整 スタッフ依頼、調整 備品の借用依頼 各種打ち合わせ</p> <p>活動の実施 開会、閉会の挨拶 司会進行 田植えの指導・生き物の解説 参加者との交流 意見・感想のとりまとめ</p>

6.3 活動状況



10:01 児童整列と代表あいさつ



10:01 講師スタッフのあいさつ



10:06 高碓氏による技術指導



10:10 レンジャーによるモンドリの説明



10:21 高碓さんの技術指導



10:14 田植えの開始



10:22 田植えのようすその1



10:23 田植えのようすその2



10:30 田植えのようすその3



10:36 足の泥落とし



10:41 水槽の魚観察



10:41 水路での足洗い



10:56 児童のお礼



11:00 閉会のミーティング

6.4 意見・課題

参加者からの意見	<p>田植えは初めて。楽しかった。</p> <p>足が泥んこになっておもしろかった。</p> <p>魚がいるのでびっくりした。</p> <p>稲刈が楽しみです。</p> <p>なかなかまっすぐに植えられなかった。</p> <p>泥あそびのようで楽しかった。</p> <p>あと何ヶ月でお米になるのかなあ。</p> <p>魚のとり方はじめて分かった。</p>
今後の課題	<p>子どもだけではなく保護者の参加があればよい。</p> <p>田植え時の2時間だけではなく、水管理(月6回)、天日干し等にも参加してほしい。</p>

7. 吉川レンジャー活動実施報告・平成21年10月15日(木)

7.1 実施状況

<テーマ:稲作体験学習>

テーマ	みんなで稲刈りを体験しよう		
担当	高槻出張所管内	河川レンジャー 吉川レンジャー	
開催日時	平成21年10月15日(木)10:30~12:30		
参加人数	参加総数	95名	
	一般参加者	85名	柱本小学校(引率大人5名)
	協力スタッフ	7名	茨木市農林課2名
			茨木市農業委員会1名
			神安土地改良区3名
	河川レンジャー	1名	吉川レンジャー
高槻出張所	1名		
運営事務局	1名		
スケジュール	10:30	協力者準備	
	11:00	柱本小学校5年生児童集合・児童挨拶	
	11:05	吉川レンジャー挨拶	
	11:07	吉川レンジャーによる水路で捕獲した小鮒の説明	
	11:11	稲刈り農地提供者:高碕氏の挨拶および稲刈り説明	
	11:15	稲刈りの開始	
	12:00	稲刈りの終了	
	12:01	児童によるお礼の挨拶	
	12:05	児童解散	
	12:10	吉川レンジャーによる協力者への挨拶・解散	
実施場所	(場所)高槻市柱本4丁目20番地地先		

7.2 事前活動

<p>各種資料</p>	<p>特になし</p>
<p>関係機関からの支援内容</p>	<p>高槻市・高槻市農業実行組合・神安土地改良区 スタッフ協力</p> <p>淀川河川事務所 パケットの提供 必要資料の印刷 必要物品の貸与</p>
<p>レンジャーの活動内容</p>	<p>実施計画の立案 実施日・実施内容の検討 現地下見 小学校との調整</p> <p>参加の案内 小学校への案内</p> <p>必要物品の準備 関係機関、協力者への依頼・調整</p> <p>関係機関との調整 スタッフ依頼、調整 備品の借用依頼 各種打ち合わせ</p> <p>活動の実施 開会、閉会の挨拶 司会進行 田植えの指導・生き物の解説 参加者との交流 意見・感想のとりまとめ</p>

7.3 活動状況



吉川レンジャーの挨拶



高碕氏による稲刈りの実演



稲刈り体験風景(1)



稲刈り体験風景(2)



刈り取った稲を束ねる



束ねた稲をコンバインへ運ぶ



コンバインへの持ち込み風景



高碕氏による終了の挨拶

7.4 意見・課題


参加者からの意見	<p>水路に魚がいるので驚いた。</p> <p>泥んこになり楽しかった。</p> <p>初めての田植えで面白かった。</p> <p>なかなかまっすぐ植えられないのでむずかしいと思った。</p> <p>魚の種類も多いのだなぁと思った。</p> <p>モンドリを初めて見た。</p> <p>お米になるのが楽しみだ。</p> <p>おモチつきが待ち遠しい。</p>
今後の課題	<p>田植え、稲刈りだけではなく、水管理(計16回)、天日干し、その後の水入。稲の花の咲く頃。稲穂の揃う時、等の観察をして欲しい。</p> <p>保護者の参加があればもっとよい。</p>

8. 吉川レンジャー活動実施報告・平成 21 年 7 月 4、5 日(土・日)

調整の結果、中止

8.1 実施状況

<テーマ:みんなで水防を体験しよう>

テ ー マ	土のう積み体験	
担 当	高槻管内	河川レンジャー 吉川レンジャー
開催予定日時	平成 21 年 7 月 4、5 日(土・日)	
	<p>実施に向けて水防組合、地域自治会等と調整をすすめていたが、新型インフルエンザ感染防止のため、諸団体と話し合った結果、6月初旬頃、中止を決定。</p> <p><レンジャーの活動内容> 実施計画の立案 実施日・実施内容の検討</p> <p>関係機関との調整 スタッフ依頼、調整 備品の借用依頼 各種打ち合わせ</p>	
実施予定場所		

9. 酒井レンジャー活動実施報告・平成21年4月1日～平成22年1月30日

9.1 実施状況

<テーマ:河川の適正な利用の推進を図る活動>




テ ー マ	河川の適正な利用の推進を図る活動	
担 当	高槻出張所管内	河川レンジャー 酒井レンジャー
開催日時	平成21年4月～ 適宜実施 (詳細次頁参照)	
活動場所		

活動概要 上半期に実施した危険箇所、不法・迷惑行為の実態調査及び水辺での安全指導の活動状況を下表に示します。活動は利用者が多い土日、休日及び夏休みを重点に実施を目指したが、今年の7月は雨の日が多かったため、1日しかできなかった。また、高槻出張所管内で発生した既往の事故について調査しました。

NO	月	日	曜日	場所 淀川右岸	水辺での安全指導		不法・迷惑行為の監視・指導		備考
					危険箇所の調査	水辺での安全指導	不法・迷惑行為の調査	不法・迷惑行為の監視・指導	
1	4	13	月	河川公園管理者					公園内実態調査
2		21	火	淀川河川事務所					既往事故調査
3		25	土	25.9k～19.9k					
4		29	水・祝	20.6k～17.3k					
5	5	2	土	21.3k～15.9k					
6		3	日	27.9k～21.2k					
7		5	火・祝	25.9k～19.5k 左岸31.5k～17.1k					左岸:H19.9.14 小学生水難事故調査
8		8	金	25.9k～21.2k					
9		9	土	25.9k～18.2k					
10		24	日	25.8k～15.9k					
11		6	13	土	28.4k～25.8k				
12	27		土	21.3k～15.9k					
13	7	20	月・祝	15.9k～25.8k					
14	8	2	日	28.4k～21.3k					
15		11	火	25.2k～21.3k					
16		22	土	28.4k～21.3k					
17		23	日	21.3k～15.9k					
18		30	日	28.4k～21.3k					
19	9	6	日	28.4k～15.9k					
20		13	日	28.4k～15.9k					
21		26	土	28.4k～21.3k					
22	10	4	日	28.4k～21.3k					
23		12	月・祝	28.4k～21.3k					
24		17	土	28.4k～25.8k					
25		18	日	25.8k～21.3k					
26	11	8	日	24.8k～21.3k					
27		15	日	25.8k～21.3k					
28		28	日	28.4k～21.3k					

< 高槻管内事故の事例調査 >

事故の種類	発生場所	事故内容
車止事故	淀川右岸 27.3k 緊急河川敷道路上	車止めによる事故(子供が 15 針縫う怪我)車止の穴
車止事故	淀川右岸 24.4k 堤防天端上	子供 3 才 ボールが砂をかみ、ボールが完全に上まで上がらない
法面火事	淀川右岸 24.4k 堤防法面	堤防表面裾 火事 212m ² 53m×4m
水難事故	淀川右岸 26k～27k 水面	淀川を二人で横断中に溺れる。付近の水深は 3m 男性 24 才
水難事故	淀川左岸 31.6k 水際 高槻出張所管轄外	船橋川合流付近の淀川で小学生 2 人流される。1 人救助、一人水死

<p>活動内容</p>	<p>1. 河川利用者への安全指導(子供の水辺での安全指導)</p> <p><目的></p> <p>淀川は、都市における貴重なオープンスペース等の憩いの空間であります。川の水位が普段の通りでも複雑な流れ、速い流れ等様々な危険が内在する自然を有していることから、河川利用者一人一人が河川における自己責任や河川の安全利用のために留意すべき事項、危険を回避する手段等を認識し、快適かつ安全に利用することが重要であります。このため、安全な河川利用の妨げになる危険箇所を把握し、河川の安全な利用を推進するために、チラシ、安全利用ハンドブック等により、河川利用者への安全指導を行います。</p> <p><危険箇所の調査及び河川利用者への安全指導></p> <p>以下のような視点で現地での危険箇所調査及び河川利用者への安全指導を行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・川の流れや特徴に注意 <p>川の水位が普段通りの時でも、川には様々な危険が潜んでいます。複雑な流れや速い流れ、強い水当たり、滑りやすいブロックなどがあります。危険な場所は川の状態によって変化することがあります。また、堰や橋脚のまわりなども流れが変化しやすいものです。草地では、足下のぬかるみ、ハチやヘビ、かぶれやアレルギーなどに注意が必要です。利用の内容に応じ、川の情報を自分の目でよく確かめることが重要です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・堤防の横断に注意 <p>淀川の堤防は道路交通の激しい箇所がたくさんあります。横断の際は十分注意する必要があります。</p> <p>2. 不法・迷惑行為の状況把握(不法・迷惑行為の監視・指導)</p> <p><目的></p> <p>ゴミの不法投棄やゴルフの練習等、他人に迷惑となる行為の注意喚起を図るため、早朝・夜間・休日巡視や関係機関との合同巡視を実施するとともに、チラシの配布や看板設置等を行い、適正な利用の推進を目指します。不法・迷惑行為は人目につかない場所で行われることが多いため、河川利用者や地域団体等の協力による通報連絡体制の確立等、多様な監視をするための仕組みづくりを目指します。</p> <p><不法・迷惑行為の調査></p> <p>以下のような視点で現地での不法・迷惑行為の調査を行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・迷惑や危険な利用をしないように <p>バイクや堤防のり面を走行すると堤防を傷めます。ゴルフの練習も他の利用者に危険です。また、河川敷でのラジコンやバイクなども騒音や他の人の迷惑がかかりますので、これら迷惑や危険な利用はしないようにする必要があります。</p> <p>不法迷惑行為の現状</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-end;"> <div style="text-align: center;">  <p>違法駐車</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>水上スキー</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>不法投棄</p> </div> </div>
-------------	--

	<p>6.川づくり、まちづくりへの参画・支援活動</p> <p>今年度に実施した水辺の危険箇所、不法・迷惑行為の実態調査及び水辺での安全指導など、日頃の活動時に河川利用者の中から監視・指導を共に行ってくれることを了解した協働者と、「自然再生への住民参加の仕掛けづくり」を目標に、たまりの改良工事の見学を行い、河川整備への理解を深めます。</p> <p>そこで、三島江高水敷切り下げ地の自然環境の特性を損なわない中で散策や観察など自然と触れ合う公園利用について話し合い、これからの「水辺環境保全・再生ゾーン」での利用のあり方について意見交換を実施しました。</p> <p>自然再生への住民仕掛けづくり実施概要</p> <p>第2回三島江切り下げ区域の利用意見交換会</p> <p>日 時：平成22年1月23日(土)13時～16時</p> <p>場 所：淀川河川公園三島江野草地区 三島江切下げ区域</p> <p>参加者：41名</p> <p>プログラム：1部…清掃</p> <p>2部…切り下げ工事の目的、調査結果</p> <p>3部…モニタリング調査(野鳥、水質、植物、魚など)</p> <p>4部…意見交換会</p>
<p>関係機関からの支援内容</p>	<p>淀川河川事務所(河川管理者、公園管理者)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・必要資料(安全指導時に利用するパンフレット、チラシ等)の提供 ・水辺の危険箇所調査及び水辺での安全指導 ・不法・迷惑行為の実態調査 ・不法・迷惑行為の調査及び協働者の発掘 ・不法・迷惑行為のマップの作成 ・第1回三島江切り下げ区域の利用意見交換会

9.2 活動状況



河川公園管理者からの情報収集(4月25日)



河川公園管理者からの情報収集(4月26日)



危険箇所の調査(4月26日)



河川公園管理者からの情報収集(4月29日)



危険箇所の調査(4月29日)



釣り人への安全啓発(4月29日)



河川巡視者からヒアリング(4月29日)



鳥飼西管理員の巡回に同行(5月2日)



公園利用者の意見拝聴(5月2日)



バイク乗り入れ確認(5月2日)



鳥飼大橋直下の危険箇所確認(5月2日)



釣りの中学生への安全指導(5月2日)



親子連れ3人への安全指導(5月3日)



大谷川河口の釣り人への安全指導(5月5日)



穂谷川河口にて観察者へのヒアリング(5月5日)

9.3 意見・課題

今後の課題	<p>水辺での危険箇所調査 高槻市、摂津市、地域住民などが把握している淀川での危険箇所情報の収集</p> <p>出前・押しかけ講座の実施 水辺での安全指導の講座の受け入れ可能な行政機関、小学校、団体などのイベント開催情報の収集</p> <p>河川利用者への安全指導 当初夏休みに釣りなどで子供が淀川に近づくものと考えたが、夏休みは気温が高く、河川敷には日陰が無いことから、余り見られなかった。次年度は9月下旬以降に重点を移した活動を考えます。</p> <p>不法・迷惑行為の監視・指導 今年度は、日頃の活動時に河川利用者の中から、監視・指導を共に行ってくれる協働者の発掘を試みたが、河川レンジャーとは何をすることが十分説明できず、十分発掘できなかった。今後は、運営会議の構成メンバーである高槻市、摂津市などの協力も得ながら発掘を考えていきます。</p> <p>自然再生への住民参加の仕掛けづくり 今年度開催した第1回三島江切り下げ区域の利用意見交換会の参加者の多くは、河川敷での開催を希望していました。河川敷での開催はテントの設営など費用の面で課題があります。</p>
-------	--


10. 酒井レンジャー活動実施報告・平成 22 年 1 月 23 日(土)

10.1 実施状況

<テーマ:>

テ ー マ	三島江「水辺環境保全・再生ゾーン」の利用意見交換会		
担 当	高槻出張所管内	河川レンジャー酒井レンジャー	
開催日時	平成 22 年 1 月 23 日(土)12:00～16:30		
参加人数	参加総数	43 名	
	一般参加者	32 名	酒井・中川レンジャー
	河川レンジャー	2 名	
	アドバイザー	1 名	
	スタッフ	1 名	
	事務所・出張所	5 名	小俣所長、木瀬・餅原課長、桑山出張所長、稲谷係長
運営事務局	3 名	デジカメ・ビデオ・会場設営	
講 師	綾 史郎 氏	(大阪工業大学)	
スケジュール	12:38	会場全景	
	12:39	参加者受付	
	13:03	レンジャー開会のあいさつ	
	13:10	小俣所長あいさつ	
	13:32	餅原課長説明	
	13:43	木瀬課長説明	
	13:49	綾アドバイザー説明	
	14:16	現地見学出発	
	14:20	現地解説	
	14:23	外来種オオフサモ	
	14:25	外来種オオアカウキクサ	
	14:43	三島江の水辺・導水取水地点	
	15:08	桑山出張所長説明	
	15:42	質疑応答・意見交換	
	16:03	閉会のあいさつ	
	16:16	会場の撤収	
実施場所			

10.2 事前活動

<p>各種資料</p>	
<p>関係機関からの支援内容</p>	<p>淀川河川事務所(河川管理者、公園管理者)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・意見交換会の開催主旨、テーマ及び当日の運営方法についてアドバイス ・テント、椅子、机など物品の調達、設営 ・必要資料(淀川河川公園基本計画、ゴミマップ、等)の提供 ・配布資料のコピー ・淀川環境、歴史などについての専門家の紹介
<p>レンジャーの活動内容</p>	<p>1.意見交換会の主旨について、以下に基づき説明をしました。</p> <p>淀川では河川敷の切り下げ等河川形状の修復の取り組みにより、水陸移行帯等を保全・再生することで、生態系のネットワークを図っています。</p> <p>三島江河川敷切り下げ地区は、自然環境の特性を損なわない中で、散策や観察など自然と触れ合う公園利用を行う「水辺環境保全・再生ゾーン」となっています。</p> <p>今回の意見交換会では、「水辺環境保全・再生ゾーン」の利用の、あり方について野鳥、生物、植物等のモニタリング調査を通じて意見を交換をします。</p> <p>2.意見交換会の具体のテーマについて提案しました。</p> <p>(1)利用マナーについて</p> <p>例)一般公園利用者の立ち入り禁止について</p> <p>(2)利用ルールについて</p> <p>例)河川公園としての利活用方法について</p>

10.3 活動状況



12:38 会場全景



12:39 参加者受付



13:03 レンジャー開会のあいさつ



13:10 小俣所長あいさつ



13:32 餅原課長説明



13:43 木瀬課長説明



13:49 綾講師説明



14:16 現地見学出発



14:20 現地解説



14:23 外来種オオフサモ



14:25 外来種オオアカウキクサ



14:43 三島江の水辺・導水取水地点



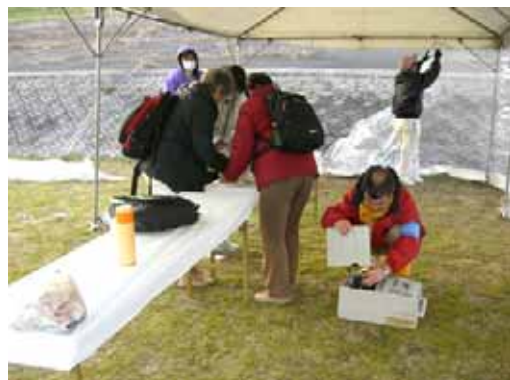
15:08 桑山出張所長説明



15:42 質疑応答・意見交換



16:03 閉会のあいさつ



16:16 会場の撤収

10.4 意見・課題

<p>参加者からの意見</p>	<p>第1回意見交換会は、まず、参加者が三島江切り下げ区域の現状と課題について、共有を図ることを目的に実施しました。主な意見は次の通りです。</p> <p>以前は自由に入れましたが、ある時期から入れなくなりました。入ると巡視員から指導を受けたこともありました。</p> <p>全域が鳥獣保護区域になっている淀川で、野鳥に飛来に影響が考えられるラジコン飛行機の操縦が行われていますが、特に指導をしていないように思われます。</p> <p>淀川水面では、水上スキーや規制線を越えた水上バイクが自由に水面を利用しています。カモの生息に影響が出ているとの指摘もあります。</p> <p>切り下げ地域は、これから冬にかけて良好な野鳥観察のポイントの一つであります。</p> <p>切り下げ地域で、「たまり」のモニタリング調査を行っているとのことですが、残念ながら調査員を見たことがないです。</p> <p>自然再生と言っていますが、ミズヒマワリやアゾラクリスタータの特定外来種が「たまり」水面をほぼ覆っています。</p>
<p>今後の課題</p>	<p>今年度開催した第1回三島江切り下げ区域の利用意見交換会の参加者の多くが、河川敷での開催を希望したため河川敷で開催したが、冬季の開催で寒さ対策に問題があった。また、河川敷での開催はテントの設営、備品の調達などコストの面で課題があります。</p> <p>三島江切り下げ地周辺には、淀川河川公園施設の鳥飼サービスセンター、三箇牧公民館など無料施設もあり、今後これらを使用を検討しコスト削減に努めたいと思います。</p>


11. 谷岡レンジャー活動実施報告・平成 21 年 4 月 18 日(土)

11.1 実施状況

<テーマ: 鶺殿のヨシ原観察会、調査>

テ ー マ	希少植物、ヨシの観察会		
担 当	山崎出張所管内	河川レンジャー谷岡レンジャー	
開催日時	平成 21 年 4 月 18 日(土) 10:00 ~ 15:00		
参加人数	参加総数	27 名	
	一般参加者	19 名	
	河川レンジャー	1 名	谷岡レンジャー
	協力スタッフ	4 名	鶺殿クラブ
	講師	1 名	小山弘道氏
	淀川河川事務所	1 名	小俣河川事務所所長、高木山崎出張所所長
	運営事務局	1 名	
講 師	小山弘道氏	(鶺殿ヨシ原研究所所長、淀川環境委員会委員)	
スケジュール	10:07	開会 レンジャーあいさつ、活動の趣旨、講師を紹介	
	10:16	講師から説明、観察の内容、コースについて	
	11:00	希少植物 ノウルシを観察	
		ヨシを育てる ツル植物・カナムグラの芽生えを抜く	
	11:51	希少植物 トネハナヤスリを観察 ヨシ原焼きの効果	
	12:08	昼休み、仮設トイレ・テントを設営。	
	12:58	市民参加の調査を紹介。地下水位観測データの回収、植物調査等。	
	13:13	ヨシ原保全事業 切り下げ地を観察	
	13:43	希少植物 オドリコソウを観察 場所によって白い花、赤い花	
	13:50	ヨシ原保全事業 淀川からポンプで揚水された水路を観察	
13:54	集合写真		
14:12	レンジャーから説明、ヨシ育成・調査区があり、協力スタッフと毎週活動を行っている、参加者に今後の参加を呼びかけた。		
14:23	ヨシとオギの違い: 冬の枯れた状態の物(ヨシズ・雅楽の楽器ひちりきに使用)、芽生えを観察、今後の成長について説明。		
14:50	河川の自然が支える伝統芸能の説明。閉会のあいさつ。		
実施場所	 <p>活動場所：鶺殿のヨシ原</p>		

11.2 事前活動

<p>各種資料</p>	 <p>レンジャーNews レンジャー講座案内 ゴミ投棄の啓発パンフ</p> <p>鶺鴒ヨシ原の資料 鶺鴒パンフレット 新聞記事(講師の 活動紹介、鶺鴒) 雅楽と鶺鴒 (レンジャー活動紹介) 鶺鴒通信 ヨシの利用(ヨシ紙) 印レンジャー作成</p>
<p>関係機関からの支援内容</p>	<p>鶺鴒ヨシ原研究所: 講師、資料提供 鶺鴒クラブ: 協力スタッフ 準備から下見、実施まで 資料提供、備品の貸与、</p> <p>島本町: 広報 広報紙に募集記事の掲載、チラシの配布 高槻市: 広報 チラシの配布</p> <p>淀川河川事務所: 広報、必要物品の貸与、必要資料の提供など</p>
<p>レンジャーの活動内容</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 実施計画の立案 <ol style="list-style-type: none"> (1) 実施日・実施内容の検討 (2) 現地下見(講師、協力スタッフと数回) (3) 準備: 観察通路の草刈り 2. 参加の案内 <ol style="list-style-type: none"> (1) チラシの作成 (2) チラシの配布(配布先...高槻市役所、島本町役場、自然環境団体の活動に参加して配布、鶺鴒の近隣の自治会に回覧板で配布) レンジャーホームページ掲載 島本町 広報 4月発行号に掲載(島本町のHPにも掲載) 過去の参加者や自然環境団体にメールなどで案内。 3. 必要物品の準備 関係機関、協力者への依頼・調整 4. 関係機関との調整 スタッフ依頼、調整、備品の借用依頼 各種打ち合わせ 5. 活動の実施 開会、閉会の挨拶 司会進行 観察の指導・解説 参加者との交流 意見・感想のとりまとめ

11.3 活動状況



10:07 レンジャーから開会のあいさつ



10:16 観察の内容について講師解説



11:00 希少植物ノウルシ(草)を観察黄色い花が広がっている ウルシ漆とは別



ヨシを倒すツル植物カナムグラを抜く
ヨシ原は里山に似て人が維持する自然



11:51 希少植物トネハナヤスリ観察
ヨシ原焼きがあると広い面積に育つ



12:08 昼休み、仮設トイレ、テント設営
協力スタッフが持ち運んでくれるので使用可能



12:58 市民参加の調査を紹介 地下水位



13:13 ヨシ保全事業 切下げ地の観察



13:43 希少 オドリコソウ(シロ)観察



13:50 ヨシ保全事業 導水路の観察



初参加の方も常連さんも春の陽射しと緑の輝きが気持ちよい、にっこり。



レンジャーによる調査区の説明。ヨシ計測など毎週活動中。参加者に参加を呼びかけた。



調査区 2 区画、各 10 × 10m



14:23 ヨシとオギの違いを観察



14:50 雅楽楽器ヒチリキの吹き口「舌」を回覧。鶺鴒殿のヨシが古来最適とされ宮内庁、神社などで愛用。



14:50 講師の説明: 河川が支える伝統芸能、雅楽演奏会、市民参加の保全活動。レンジャーから今後の活動の案内。閉会

11.4 意見・課題

<p>参加者からの意見</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 島本町の「島本・緑と水を守る会」の活動に参加したときに、今日の観察会のことを知って参加しました。国の保全事業やその後の変化についてはまったく知らなかったので勉強になりました。自転車で来られる距離ですので、また来て見たいと思います。 ・ レンジャーのHPをたまたま知って、淀川下流の城北ワンドのヨシのことを知りたく思い、レンジャーに問合せをして今日の観察会を知った。鶺鴒は想像以上に広く、城北ワンドは公園なので、様子がまったく違った。淀川上流の3つの川で行われる活動もあるそうなので、行ってみたい。 ・ 観察会などの活動が今日だけではなく、金曜日などにもあるそうなので、参加してみたい。上牧駅近くに住んでいて堤防で犬の散歩をするので、鶺鴒を見てはいたが、知らないことが多かった。 ・ 島本の広報を見て参加した。ヨシ原焼きの時は来たことがあるが、春に来るのは初めて。カナムグラ抜きが面白かった、ヨシを育てることになるとは知らなかった。 ・ 希少植物を見てみたかったので参加、一面にひろがっていたので驚いた。数ヶ所にあるだけかと思っていたので。 ・ 講師、レンジャー以外にも、質問に答えられたり説明して下さる方がいたので良かった。
<p>今後の課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 実施準備 通路の草刈りに人、時間、物が必要。 <p>観察通路は往復で約2km、幅1m。植物の繁茂:この時期よく見られるセイヨウカラシナは1mを越える。他の植物も広がり伸びている。距離が長い、また参加者の年齢は小学低学年から80歳代までが想定されるので河川敷は歩きづらいという感想にならないよう、草刈りを行った。レンジャー、講師、協力スタッフが数日をかけて、刈り払い機で行った。機械はレンジャーと協力スタッフの私物、混合ガソリンや替え刃も購入したが、今後は、消耗品:混合ガソリンと替え刃の支援を要請したい。</p> <div data-bbox="459 1498 847 2011" style="text-align: center;"> </div>


12. 谷岡レンジャー活動実施報告・平成 21 年 5 月 15 日(金)

12.1 実施状況

< テーマ: 鶺殿のヨシ原観察会、調査 >

テ ー マ	鶺殿のヨシ原観察会		
担 当	山崎出張所管内	河川レンジャー 谷岡レンジャー	
開催日時	平成 21 年 5 月 15 日(金) 9:30 ~ 12:30		
参加人数	参加総数	49 名	
	一般参加者	42 名	(五領公民館、鶺殿クラブ)
	講師	1 名	
	協力スタッフ	4 名	
	山崎出張所	1 名	
運営事務局	1 名		
講 師	小山 弘道氏	(鶺殿ヨシ原研究所所長、淀川環境委員)	
スケジュール	<p>地元の公民館と共催</p> <p>9:30 山崎出張所にてスタッフ集合・参加者受付開始</p> <p>10:00 開会、五領公民館館長より挨拶とレンジャー、スタッフの紹介。谷岡レンジャーより挨拶、レンジャー活動と配布資料の説明。講師より挨拶、コース、観察の内容を説明。</p> <p>10:10 山崎出張所出発 堤防を下流に向かって歩き、鶺殿を観察</p> <p>10:40 野鳥、野草、「葭原の碑」について解説しながらウォーキング</p> <p>11:00 堤防からヨシ原へ ヨシ原の概要、高槻市の保全事業について、トネハナヤスリ、ノウルシなど希少種を含む野草の観察</p> <p>11:30 休憩 ヨシとオギの違いについて説明</p> <p>12:00 淀川からの揚水ポンプ到着、淀川について、国の保全事業について説明。ヨシ原から堤防、山崎出張所へ戻る</p> <p>12:20 山崎出張所到着 終わりの挨拶、今後の案内 参加者解散。 スタッフ後片付け、ふりかえりの話し合い。</p> <p>13:00 終了、スタッフ解散</p>		
実施場所			

12.2 事前活動

<p>各種資料</p>	<p>配布資料</p>  <p>鵜殿パンフレット 谷岡河川レンジャー活動紹介</p> <p>鵜殿クラブ活動紹介</p> <p>河川レンジャー 淀川発見講座チラシ</p>
<p>関係機関からの支援内容</p>	<p>高槻市立五領公民館 広報協力・参加者の受付作業 協力スタッフ</p> <p>鵜殿クラブ 講師・スタッフ協力 備品の貸与</p> <p>淀川河川事務所 必要物品の貸与 必要資料の提供</p>
<p>レンジャーの活動内容</p>	<p>五領公民館と打合せを行いながら実施</p> <p>実施計画の立案 実施日・実施内容の検討 現地下見、観察通路の草刈り (いずれも、協力スタッフ:鵜殿クラブや講師と打合せ、実施)</p> <p>参加の案内 チラシの作成、チラシの配布、ホームページ掲載 (配布先:高槻市役所、市内公民館など)</p> <p>必要物品の準備 関係機関、協力者への依頼・調整</p> <p>関係機関との調整 スタッフ依頼、調整 備品の借用依頼 各種打ち合わせ</p> <p>活動の実施 開会、閉会の挨拶 司会進行 観察の指導・解説 参加者との交流 意見・感想のとりまとめ</p>

12.3 活動状況



山崎出張所にて集合、開会



「歴史を作ってきた場所を望む」堤防から比叡山、石清水八幡宮、天王山、交野山



鵜殿の葭原の石碑 2種類の説明板の内容を詳しく説明 歴史、ヨシ利用など



ヨシ原へおりて、鵜殿のヨシ原の概要について工事説明板の航空写真などを使って説明



水路沿いを歩きながら、鵜殿で見られる野草、野鳥について説明



観察種 ハナウド 山崎出張所前の堤防下にあり目だつので、地元参加者から質問あり。



淀川の川べり、揚水ポンプを見ながら国の保全事業について説明



山崎出張所に到着後、閉会の挨拶、解散

12.4 意見・課題

<p>参加者からの意見</p>	<p>今回は地元の五領公民館との共催で実施、公民館利用者の参加が多かったようだ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 公民館で同じ活動の仲間と参加しました。講師の小山先生の講座が以前に公民館で行われ聞いていたので、鶺鴒に興味がありました。ヨシ原の中を歩く道や淀川沿いの道があることを知ったので、これからも時々歩いてみたい。またお話も聞かせてください。 ・ 自然より歴史や文化に関心を持っている、チラシや公民館の説明のときにそういう話も有ると聞いて参加、堤防の「葭原の碑」の説明板は何度も見ていたが、より詳しい説明があり楽器の実物も見られたので良かった。鶺鴒が歴史や文化とも関係が深いと知ったので、調べてみたい。レンジャー、鶺鴒クラブの方からも歴史や文化の話が聞けた。 ・ 健康のために普段から歩くようにしていて、ウォークラリーや歩く会によく参加しています。淀川に近い道を時々歩いています。鶺鴒の中を歩く道が、草刈りがされてあって歩きやすかった。 ・ 今までにも観察会などがあったそうだが知らなかった。もっと宣伝をしてほしい。インターネットは使っていないので、他の方法でお願いしたい。 ・ 年齢が高いので鶺鴒を歩くことに不安がありました。遅れたときもスタッフの方がそばにいらっしゃったので安心しました。公民館でご一緒の方なので参加しやすかった。 ・ 朝や夕方散歩の時に犬の散歩の人たちと出会う。リードをはずして怖い気がする。直接、注意しても、飼い主は大丈夫ですよと話す。何とかならないものか。
<p>今後の課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 広報の方法 <p>広報の難しさを毎回感じる。</p> <p>関係の行政や河川事務所の支援を頂いて、広範囲に伝えられるようになり大変に有りがたい。</p> <p>インターネットを使っていない方にも情報を届けられるよう、参加者募集のチラシに加えて、活動のニュースレターを作成し情報を欲しい人が行きやすい場所においてもらえるようにしたい。</p>

13. 谷岡レンジャー活動実施報告・平成 21 年 11 月 14 日(土)

13.1 実施状況

<テーマ:自然観察ウォーク>

テ ー マ	ヨシ原自然観察ウォーク 日本一のヨシ原		
担 当	山崎出張所管内	河川レンジャー 谷岡レンジャー	
開催日時	平成 21 年 11 月 15 日(土) 9:30 ~ 15:45		
参加人数	参加総数	19 名	
	一般参加者	12 名	小人 1 名、サンケイリビング記者含
	講師	1 名	小山講師
	協力スタッフ	2 名	鶺殿クラブ
	河川レンジャー	2 名	谷岡レンジャー、 荘司レンジャー
	淀川河川事務所 運営事務局	1 名 1 名	
講 師	小山 弘道氏	(淀川河川事務所環境委員、鶺殿ヨシ原研究所)	
スケジュール	9:00	レンジャー、スタッフ集合、準備	
	9:30	受付開始	
	10:15	山崎出張所・機械室にて開会(雨天の為、屋内実施) 谷岡レンジャーの挨拶	
	10:15	小山講師のお話 楽器・ひちりき・ヨシ・鶺殿について	
	11:10	休憩	
	11:20	谷岡 R の話 国の保全事業、レンジャー活動への参加案内	
	12:10	昼食 天候が晴れてきたので午後は鶺殿へ	
	13:00	自然観察ウォークの注意事項、行程説明 出発 鶺殿のヨシ原と保全事業の切り下げ工事現場を巡る 保全事業・導水路を見学(11月中旬~3月は通水を停止)	
	15:30	山崎出張所到着 全員で感想を述べ合う	
	15:45	終了、スタッフは後片付け、ミーティング	
実施場所			

13.2 事前活動

<p>各種資料</p>	 <ul style="list-style-type: none"> ・配布資料 1. 鵜殿について 2. 導水路、切り下げ地平面図 (航空写真と説明) 3. 朝日新聞記事 090807 「ヨシが支える雅楽の要」 4. ゴミの不法投棄防止パンフ
<p>関係機関からの 支援内容</p>	<p>鵜殿ヨシ原研究所 : 講師、資料作成に協力、広報 鵜殿クラブ: スタッフ協力、備品の貸与、広報 淀川河川事務所 必要物品の貸与、必要資料の提供 高槻市、島本町、広報に協力</p>
<p>レンジャーの活動内容</p>	<p>実施計画の立案 実施日・実施内容の検討 現地下見</p> <p>参加の案内 チラシの配布(配布先...地元の自治会、高槻市、公民館) 案内をメール送信 過去の参加者、問合せの方、 ホームページ掲載</p> <p>必要物品の準備 関係機関、協力者への依頼・調整</p> <p>関係機関との調整 スタッフ依頼、調整 備品の借用以来 各種打ち合わせ</p> <p>活動の実施 開会、閉会の挨拶 司会進行 観察の指導・解説 参加者との交流 意見・感想のとりまとめ</p>

13.3 活動状況



雨天の為、山崎出張所機械室にて開会



資料を用いて小山講師の鵜殿・ヨシ講座



雅楽の楽器 篳篥(ひちりき)の説明



リード蘆舌ろぜつに鵜殿のヨシが日本一



堤防に移動して出発前の諸注意と行程説明



堤防上から歴史を作ってきた景観を説明
天王山、比叡山、男山岩清水八幡宮



茶色の穂はヨシ、白色の穂がオギ



「鵜殿の葭原の碑」(淀川改良記念)見学



下流部、道鶴町の車止めを下りる



小山講師 ヨシ、セイタカヨシ、オギの説明



4~5mに育ったオギ、ヨシの間を進む。看板は高槻市設置の調査区



ヨシ原を復元する為の工事現場を観察
切り下げ事業



実際に手に取って、ヨシとオギの違いを学ぶ



カヤネズミの巣
生息地の草原が減少している



導水路を渡る



山崎出張所に到着 閉会の挨拶・感想


13.4 意見・課題

<p>参加者からの意見</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1.参加のきっかけは、コウノトリが淀川に来たことを知って鵜殿に来て、堤防で鵜殿を眺めていたら、レンジャーに声をかけられ、活動を知った。野鳥についてたずねたら、地元の野鳥に関する団体や個人を紹介された。今後は続けて、野鳥、猛禽類の観察や写真の撮影に来たい。(この方から、後日、猛禽類の写真の提供があり、広報や資料に活用) 2.(サンケイリビングの記者)暮らしや街の情報、今は「エコ、環境」などの情報を普段から集めている。 3.小山先生から、上牧町の店でよく鵜殿のお話や活動のことを聞いている。今日は仲間と参加、鵜殿は地元なので知っているつもりだった。 4.10月の産経新聞を見て、高槻市に問い合わせ、鵜殿ヨシ原研究所、河川レンジャー活動を知った。平日は働いているので、休日に問い合わせたり、現地の案内が受けたり説明を聞いて理解を深めた。 5.来月も観察会があるそうだし、平日も調査やヨシを育てる活動があるそうなので継続して来たい。 6.ゴミ不法投棄は道鵜町付近の堤防で増えている、役所ではどんな対策をとっているのかに疑問があった。
<p>今後の課題</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1.レンジャー活動の参加者を、継続的な活動への参加にどうつなげるか。 上記の、野鳥の写真撮影の方とは連絡を続けている。 写真の提供の他に、川の自然の保全について、ご自身の取り組みを考えられたそうだ。 「私は写真を撮って、その写真やデータを活動する人や団体に提供することで、川の保全に関わっていこうと思う。」 その方なりの川への関わりを受け止めて、レンジャー活動に活かしたい。 2.課題 広報、活動参加者の増員


14. 谷岡レンジャー活動実施報告・平成 21 年 12 月 6 日(日)

14.1 実施状況

<テーマ:自然観察ウォーク>

テ ー マ	日本一のヨシ原 鶉殿のヨシ原観察会		
担 当	山崎出張所管内	河川レンジャー 谷岡レンジャー	
開催日時	平成 21 年 12 月 6 日(金) 9:30 ~ 15:25		
参加人数	参加総数	19 名	
	一般参加者	14 名	小人 1 名、大人 13 名
	講師	1 名	小山講師
	協力スタッフ	2 名	
	河川レンジャー 運営事務局	1 名 1 名	谷岡レンジャー
講 師	小山 弘道氏	(淀川河川事務所環境委員、鶉殿ヨシ原研究所)	
スケジュール	<p>9:30 スタッフ集合・準備</p> <p>9:45 受付開始</p> <p>10:05 山崎出張所・機械室にて開会 谷岡レンジャー挨拶</p> <p>10:10 小山講師より鶉殿のヨシ原のお話し</p> <p>10:55 資料用写真提供者の紹介、ヨシ紙の説明</p> <p>11:10 出発 堤防上から距離標、ツバメのねぐら、保全事業の説明</p> <p>12:05 ヨシ原保全工事現場の見学</p> <p>12:40 昼食</p> <p>13:10 再開 ヨシ刈、ヨシ・オギの地下茎の説明</p> <p>13:30 鶉殿のヨシ群生地へ移動 現地生物の解説 導水路を渡る</p> <p>15:00 山崎出張所到着 全員で感想</p> <p>15:25 解散、講師とスタッフはミーティング 16 時終了</p>		
実施場所			

14.2 事前活動

<p>各種資料</p>	 <p>配布資料</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. レンジャー作成 鶺殿の生き物 2. 講師作成 鶺殿について 3. 鶺殿パンフ、記事 4. 導水路、切り下げ地平面図 5. 切り下げ工事概要 6. ヨシの利用(ヨシ紙) 7. 河川事務所 事業概要 8. よどがわつうしん、公園マップ
<p>関係機関からの支援内容</p>	<p>鶺殿ヨシ原研究所 : 講師、資料作成に協力、広報 鶺殿クラブ: スタッフ協力、備品の貸与、広報 淀川河川事務所 必要物品の貸与、必要資料の提供 高槻市、島本町、広報に協力</p>
<p>レンジャーの活動内容</p>	<p>実施計画の立案 実施日・実施内容の検討 現地下見</p> <p>参加の案内 チラシの配布(配布先:高槻市、地元自治会) 高槻市広報 11月25日発行分に掲載 ホームページ掲載 案内をメールやファックスを送信 過去の参加者、問合せの方、</p> <p>必要物品の準備 関係機関、協力者への依頼・調整</p> <p>関係機関との調整 スタッフ依頼、調整 備品の借用依頼 各種打ち合わせ</p> <p>活動の実施 開会、閉会の挨拶 司会進行 観察の指導・解説 参加者との交流 意見・感想のとりまとめ</p>

14.3 活動状況



山崎出張所で開会 谷岡 R の挨拶
小山講師の講義 鵜殿の概要



右岸堤防を下流に向かって出発



「鵜殿葭原」淀川改良記念碑を見学



淀川から 31 km地点にある距離標の説明



鵜殿の下流部は、オギの群生が目立つ



鵜殿のヨシ保全区域に向かう



切り下げ工事現場の見学



工事現場から掘り出した表土、後に埋め戻す



ヨシやオギの地下茎に触れてみる



右:ヨシ 左:オギの地下茎
節の間隔が広い方がヨシ



生息動物の足跡
(アライグマ?ヌートリア?)



スタッフによる、楽器ひちりきの説明
吹き口に鶺鴒のヨシが最適とされている



カヤネズミの巣



導水路を渡る



淀川からの揚水ポンプの見学



山崎出張所に到着 感想、閉会の挨拶

14.4 意見・課題

<p>参加者からの 意見</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 以前にも観察会に参加はしたが、今回は、まず室内講義があり、引き続いての観察会だったので、理解が深まった。 2. 小学生の息子と参加したが、子供向けの資料が用意されていたり、室内講義の間は塗り絵(昆虫や植物、工事の機械)が用意されていて、子供が静かにしていたので、私も先生の話聞くことができた。 (谷岡の補足:子供向けの資料は整備局や河川事務所のHPを印刷) 3. 高槻市の民俗歴史資料館で市民ボランティアの活動している。植物「カラムシ」の皮から繊維をとり、織物をしている。ボランティアの仲間から鶺鴒殿にカラムシが有ることを聞いて参加。電話で申し込んだ時に、今日の観察会の時にカラムシの織物の活動を紹介してほしいと言われて、糸や織物を持ってきて説明した。参加するだけでなく、私の活動を紹介できたのが嬉しかった。 (谷岡の補足: 仲間の方が、レンジャー活動の観察会に参加されていた) 4. もっと宣伝をすれば良いのと思った。 今までレンジャー活動が有ることを知らなかった。私はインターネットを使わないし、市役所にチラシがあっても役所に行くことが少ない。今回は高槻の広報を見て知った。
<p>今後の課題</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 活動参加者の継続的な参加への取り組み 2. 参加者から、協力スタッフとしての関わりへの取り組み 3. 広報


15. 谷岡レンジャー活動実施報告・平成 22 年 1 月 23 日(土)

15.1 実施状況

<テーマ: 鵜殿のヨシ刈り>

テ ー マ	鵜殿のヨシ原でヨシを刈ってヨシ原を育てよう			
担 当	山崎出張所管内	河川レンジャー 谷岡レンジャー		
開催日時	平成 22 年 1 月 23 日(土)10:00 ~ 15:15(全体 9:00 ~ 16:00)			
参加人数	参加総数	103 名	(NHK 大阪放送局スタッフ 3 名別途)	
	一般参加者 河川レンジャー 協力スタッフ 講師 河川事務所 山崎出張所 運営事務局	89 名 2 名 6 名 1 名 3 名 1 名 1 名	大人 82、中学生 4、子供 3 名 谷岡レンジャー、山口レンジャー 小山弘道氏 所長、河川環境課	
講 師	小山 弘道 氏	(淀川河川事務所淀川環境委員、鵜殿ヨシ原研究所)		
スケジュール	9:00 9:15 10:00 10:35 12:00 12:40 15:00 15:15	<p>谷岡 R 活動開始(原田 R 活動と同時開催、但し活動場所は異なる)</p> <p>スタッフ集合、(9:30 原田 R の一行が到着、谷岡 R から説明と注意)</p> <p>受付、谷岡レンジャー挨拶、協力スタッフがグループ毎に活動場所へ案内。堤防を歩いて、ヨシ原全体を観察しながら移動。</p> <p>活動地「切下げ地」に到着、協力スタッフがグループ毎に説明、開始</p> <ul style="list-style-type: none"> 目的:ヨシ原は人が里山と同じように関わって守る自然。 人の関わりとはヨシ刈り、ヨシの利用など。 内容:ヨシとオギを分ける、ヨシの利用(ヨシ紙や楽器)を知る。 <p>昼食。プログラム:ヨシ笛の演奏、ヨシ紙の展示、写真展示(市民と行政が取り組む、川の自然や生き物の保全活動と保全事業)</p> <p>小山講師から説明、国の保全事業と市民の保全活動の成果について</p> <p>谷岡レンジャーは各グループを回り質問に回答、参加者の様子を確認。ヨシの束を作り円錐形に組み立てる、記念の集合写真を撮影。</p> <p>谷岡 R、小山講師から閉会の挨拶、現地解散。出張所までは協力スタッフがグループ毎に案内。全員の到着を確認。スタッフで後片付け。</p>		
実施場所	<p>Map showing the location of the activity site (鵜殿「ヨシ原」) and the reed-cutting sites (ヨシ刈り現場) for the Hara Ranger group (原田レンジャー) and the Tanioka Ranger group (谷岡レンジャー). The map also shows the Utsunomiya River Office (淀川河川事務所) and the Utsunomiya River (淀川).</p>			

15.2 事前活動

<p>各種資料</p>	 <p>・配布資料 谷岡レンジャー作成 内容： 1.挨拶、注意事項、NHK 撮影について 2.場所 集合と活動場所、トイレ 3.スケジュール 4.本部(救急、飲み物)、危険箇所 5.鶺殿が支える世界無形文化遺産「雅楽」 6.講師紹介 7.谷岡R 活動紹介 8.案内 今後の活動、展示会など</p>
<p>関係機関からの 支援内容</p>	<p>鶺殿ヨシ原研究所 :講師、資料作成に協力、広報 鶺殿クラブ: スタッフ協力、備品の貸与、広報 NPO 日本森林ボランティア協会有志: 事前の刈り払い機械による、ヨシ・オギの刈り倒し 淀川河川事務所 必要物品の貸与、必要資料の提供 高槻市、島本町、阪急電車上牧駅 広報に協力</p>
<p>レンジャーの 活動内容</p>	<p>実施計画の立案 実施日・実施内容の検討 現地下見</p> <p>参加の案内 チラシの配布(配布先...高槻市しろあと歴史館、公民館、 高槻商工会議所青年部、 案内をメール送信 過去の参加者、問合せの方、 掲示:阪急電車上牧駅、地元のお店、 レンジャーのホームページ掲載 神社・雅楽関係者「神社新報」「邦楽ジャーナル」「雅楽協議会会報」</p> <p>必要物品の準備 関係機関、協力者への依頼・調整</p> <p>関係機関との調整 スタッフ依頼、調整 備品の借用依頼 各種打ち合わせ</p> <p>活動の実施 開会、閉会の挨拶 司会進行 観察の指導・解説 参加者との交流 意見・感想のとりまとめ</p>

15.3 活動状況



受付の風景



谷岡レンジャーによる挨拶、注意事項説明



スタッフが班毎に活動場所へ案内、移動



切り下げ地に到着「ヨシの茅の輪」をくぐる



班別にリーダーによる目的と活動の説明



自然を守り活用 ヨシとオギを分ける



ヨシをわら縄で束ねる



できあがるヨシ束に達成感、意欲が高まる



ヨシ束を運ぶ、中学生参加者と保護者



当日も更にヨシの硬い残茎を刈る、安全のため



ヨシ紙製品の展示 ヨシ刈り活動の成果、



写真展示「市民と行政が取り組む川の保全」



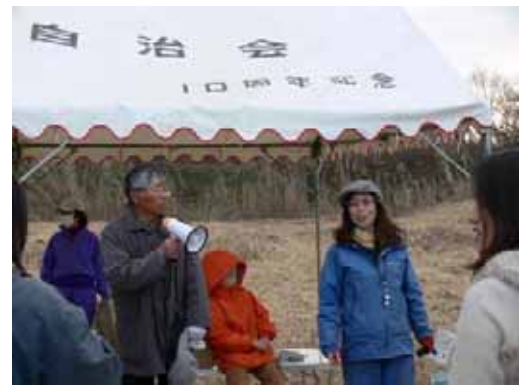
ヨシ笛の演奏会



ヨシの乾燥の為、円錐形に組み立てる



記念写真(のぼりは参加団体の紹介)



小山講師、谷岡Rによるまとめの挨拶

15.4 意見・課題

<p>参加者からの 意見</p>	<p>団体の参加が多かった(下記、順不同)。個人参加も数名。</p> <p>参加の動機は、〔 〕内の通り。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高槻商工会議所青年部〔部員が去年も参加、今回は高槻ブランド創出〕 ・高槻市文化財ボランティアスタッフ有志〔昨年に講師の講義やレンジャーからの資料提供、活動説明を受けたので〕 ・高槻市上牧町住民(趣味の仲間)〔去年も参加、地元の住民として関心〕 ・地元銀行の有志〔一昨年に小山講師の活動に参加、昨年レンジャー活動参加〕 ・交野市住民(趣味の仲間)〔去年に引き続き参加〕 ・枚方市住民〔2008年秋の雅楽コンサート、鶴殿の観察会に参加したので〕 ・鶴殿のヨシ笛の会〔鶴殿のヨシを使った笛、参加者に楽しんでもらいたい〕 ・淀川下流 文具メーカー有志〔ヨシ紙を通じて川の環境活動に興味〕 ・淀川下流 紙関係の会社有志〔利用するだけでなく保全活動に参加したい〕 ・雅楽関係者〔楽器ひちりきのヨシは鶴殿の産、何かできたらと考えた。〕 <p>感想 1</p> <p>「高槻商工会議所青年部」今回、初めて参加させていただきました。 当部は今年度から「高槻ブランド創出」というテーマについて取り組んでおります。高槻にしかない"鶴殿のヨシ原"、そしてそこから生まれるヨシ紙は「高槻ブランド」にできるのではないかと考え、まずは体験してみようと青年部員とその家族と友達の、総勢 17 人で参りました。 広々としたヨシ原での作業は気持ちよく、また、日頃の生活とは違う非日常的な一日を過ごすことができ、よかったですと思います。 そして、鶴殿が大勢の人手によって維持されており、自然環境に理解のある会社によってヨシ紙が作られているということが理解できました。 これからは、ヨシの用途について研究してみたいと思っております。</p> <p>感想 2</p> <p>子供とその友達の中学生を 4 人連れて行きましたが、このごろは学校で"エコ"とか"ボランティア"ということを学んでいるらしく、娘を誘ったら「うちら、ボランティアできるの? しかもエコやんか!!」とって、友達も 3 人ついてきた次第です。学校関係などに案内したら結構反応あるのでは?</p> <p>感想 3</p> <p>淀川の下流に住んでいるので、20 日の淀川改良記念の行事に行って、今度はヨシの工作をしてみたい。友達や会社の仲間を誘ってみます。</p>
<p>今後の課題</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 100 名を超える参加者が活動できる場所づくりに日数と人手がかかる。 2. 参加者の 7 割は高槻市、島本町の住民。近隣以外の場所からの参加が増えたが、継続したレンジャー活動への参加、川に関する活動への参加を目指し、企画段階から住民の参加を得られるような活動を行いたい。 3. 集めたヨシや製品は、レンジャー活動で活用。現状は、 工作 昨年の「水都大阪 2009」、2 月「淀川改良 100 年記念行事」 ヨシ紙 製紙会社でヨシ紙を製作、活動参加者に資料として説明し配布 さらなるレンジャーとして適正な有効な活用方法を検討する。